

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	無機物質工学		
英文授業科目名	Inorganic Chemistry		
開講年度	2004年度	開講年次	3年次
開講学期	5学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-必修科目		
開講学科・専攻	量子・物質工学科		
担当教官名	和田 節子		
居室	東1-105		

公開E-Mail	授業関連Webページ
wada@e-one.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
原子核の性質、原子の電子構造、簡単な無機物の構造と、物質の構造を段階的に理解する。 特に、周期表に立脚して元素の特徴を把握し、それをもとに無機物質の構造や物性を整理して理解することを目指す。

【前もって履修しておくべき科目】
化学結合と構造

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
物質とエネルギー

【教科書等】
(例) 教科書：教科書シリーズ、無機化学概論、小倉興太郎著、丸善株式会社 参考書：

【授業内容とその進め方】
原則として、教科書にそって授業を進める。授業の終了時に、講義した内容の中から理解度を確認するために簡単な問題を出し、解いてもらう。 授業では以下の内容を順に勉強する。 (1)原子核と放射能、(2)原子の構造、(3)元素の性質、(4)化学結合、(5)化学平衡、 (6)周期表、(7)典型元素、(8)配位化学、(9)遷移元素化学の基礎、(10)パイ酸性配位子錯体

電気通信大学 平成16年度シラバス

--

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

期末試験の成績(80%)。
授業時間内の小テスト(20%)。
ただし、出席が6割に満たない場合は、不可とする。

【オフィスアワー：授業相談】

特になし。特に忙しくない限り随時受け付けるので、直接部屋へ訪ねてきて下さい。

【学生へのメッセージ】

無機物質工学の内容は、基礎化学と重複する基本的な内容を含んでいます。化学の基礎を再度確認して下さい。また、対象とする無機物質は、多種類の元素から成り立っている物質です。半年間という短期間の講義ではなかなか無機物質の全貌を網羅することができません。講義の中では基本的なことに触れるに留まります。そこで、自ら学習して補ってください。バラバラの知識としてではなく、系統的に理解してください。

いろいろな科目で勉強したことと関連づけて理解してください。自分で考える力を養いましょう。

【その他】

--